

慶弔に関する内規

1 条 この会の会員の慶弔に関する内規を次のように定める。

2 条 慶弔のために贈る金額は次のとおりとする。

1 祝金

教職員の結婚

金 5000 円

2 香典

会員が死亡した場合

金 5000 円 及び 花代

会員の本校生徒が死亡した場合

金 5000 円 及び 花代

教職員が死亡した場合

金 5000 円 及び 花代

歴代会長が死亡した場合

花代

3 条 会員の家族に不慮の災害（火災、風水害、事故等）が生じた場合は、被害の状況に応じて、その都度協議する。

4 条 教職員の転退職の場合は PTA より花束を送る。

5 条 弔問は、原則として次のとおりとする。

1 会員、または会員の本校生徒が死亡した場合 役員、委員等の代表が参加する。

2 その他。上記以外の事については状況により、その都度協議する。

6 条 上記の慶弔について返礼は一切ないものとする。

7 条 その他

1 感謝状、記念品の贈呈に関しては必要と認められた場合、運営委員会において協議して決定する

附則 1 この内規は平成 20 年 4 月 1 日より実施する。

附則 2 この内規は平成 30 年 6 月 23 日より実施する。

令和7年度 年間行事予定(4月～9月)

管理運営G

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
日	曜	予定	日	曜	予定	日	曜	予定	日	曜	予定	日	曜	予定	日	曜	予定
1	火		1	木	2年内科検診	1	日		1	火	定期試験Ⅱ	1	金		1	月	防災訓練
2	水		2	金		2	月		2	水	定期試験Ⅱ	2	土	学校説明会①・体育部活動	2	火	
3	木		3	土	PTA運営委員会 保護者対象進路説明会	3	火	陸上競技大会	3	木	定期試験Ⅱ	3	日		3	水	
4	金	春季休業終了	4	日		4	水	陸上競技大会予備日	4	金	定期試験Ⅱ・履修ガイダンス	4	月		4	木	
5	土		5	月		5	木		5	土		5	火		5	金	
6	日		6	火		6	金		6	日		6	水	公私合同説明・相談会	6	土	
7	月	始業式・着任式	7	水	学校徴収金運営協議会	7	土		7	月	生徒自宅学習	7	木		7	日	
8	火	入学式	8	木	3年内科検診	8	日		8	火	試験返却	8	金		8	月	
9	水	初面式、新入生歓迎会	9	金		9	月	面談週間	9	水	試験返却	9	土		9	火	
10	木	新入生カンファレンス・写真撮影	10	土	PTA運営委員会 保護者対象進路説明会	10	火	面談週間	10	木	試験返却	10	日		10	水	
11	金	身体計測、新体力テスト	11	日		11	水	面談週間	11	金		11	月	山の月	11	木	
12	土	PTA運営常任委員会	12	月	生徒総会	12	木	面談週間、眼科検診	12	土		12	火	開庁日	12	金	
13	日		13	火		13	金	面談週間	13	日		13	水	開庁日	13	土	
14	月	実力テスト	14	水	2年歯科検診	14	土		14	月		14	木	開庁日	14	日	
15	火	1年宿泊研修、2・3年社会見学	15	木		15	日		15	火		15	金		15	月	敬老の日
16	水	1年宿泊研修、2・3年学年行事	16	金	PTA総会	16	月		16	水		16	土	学校説明会②・体育部活動	16	火	1・2年人権講習会
17	木	1年内科検診	17	土		17	火		17	木		17	日		17	水	
18	金		18	日		18	水	1年歯科検診	18	金		18	月		18	木	
19	土		19	月		19	木		19	土	PTA運営委員会	19	火		19	金	
20	日		20	火	試験前日午前休業	20	金		20	日		20	水		20	土	PTA運営委員会
21	月	1年心臓検診、会計監査	21	水	定期試験Ⅰ	21	土	PTA運営委員会	21	月	海の日	21	木		21	日	
22	火	1年学年行事、2・3年通路フェスタ	22	木	定期試験Ⅰ	22	日		22	火		22	金		22	月	
23	水	3年歯科検診	23	金	定期試験Ⅰ	23	月		23	水	大掃除、全校集会	23	土	PTA運営委員会	23	火	秋分の日
24	木		24	土		24	火	2年性感染症予防講演	24	木	夏季休業開始	24	日		24	水	
25	金		25	日		25	水		25	金		25	月		25	木	
26	土		26	月	防災訓練	26	木		26	土		26	火	夏季休業終了	26	金	
27	日		27	火	耳鼻科検診	27	金		27	日		27	水	全校集会、課題テスト	27	土	
28	月		28	水		28	土		28	月		28	木		28	日	
29	火		29	木		29	日		29	火		29	金		29	月	
30	水		30	金		30	月	定期試験Ⅱ	30	水		30	土		30	火	清峰祭準備
			31	土	第1回高・連平塚秦野地区理事会 尿検査、精液検診、耳鼻科検診				31	木		31	日				
1年クーラー教室、あいさつ運動 尿検査、総体合同開会式 学校衛生委員会			尿検査、精液検診、耳鼻科検診 金公立展 学校衛生委員会 学校運営委員会 第1回交通安全対策担当者会議			内科検診、眼科検診 金公立展 学校衛生委員会 学校運営委員会 第1回交通安全対策担当者会議			学校衛生委員会			学校衛生委員会 1・2年乗物乱用防止講話 学校衛生委員会			あいさつ運動 1・2年乗物乱用防止講話 学校衛生委員会		

令和7年度年間行事予定(10月～3月)

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
日	曜	予定	日	曜	予定	日	曜	予定	日	曜	予定	日	曜	予定	日	曜	予定
1	水	高P連平塚桑野地区大会 清峰祭準備	1	土	開校記念日	1	月	試験前日午前授業	1	水	入学式	1	日		1	日	
2	木	清峰祭準備・オープニング	2	日		2	火	定期試験Ⅳ	2	金		2	月		2	月	生徒自己学習
3	金	清峰祭(校内発表)	3	月	文化の日	3	水	定期試験Ⅳ	3	土		3	火		3	火	試験返却
4	土	清峰祭(一般公開)	4	火	芸術鑑賞会	4	木	定期試験Ⅳ	4	日		4	水	PTA会計監査	4	水	試験返却
5	日		5	水		5	金	定期試験Ⅳ	5	月	開庁日	5	木		5	木	
6	月	片付け、清掃、クロージング	6	木		6	土	学校説明会④	6	火		6	金	学校徴収金運営協議会	6	金	卒業式予行、同窓会入会
7	火		7	金		7	日		7	水	冬季休業終了	7	土	PTA運営委員会	7	土	卒業式
8	水		8	土	PTA運営委員会	8	月		8	木		8	日		8	日	
9	木		9	日		9	火		9	金		9	月		9	月	
10	金		10	月	講演会	10	水		10	土	学校説明会⑤(個別相談会)	10	火		10	火	
11	土	PTA運営委員会	11	火		11	木		11	日		11	水	建国記念の日	11	水	
12	日		12	水		12	金		12	月	成人の日	12	木		12	木	
13	月	スポーツの日	13	木		13	土		13	火		13	金		13	金	入学説明会 PTA運営常任委員会
14	火		14	金		14	日		14	水		14	土		14	土	
15	水	試験前日午前月曜授業	15	土		15	月	講演会	15	木		15	日		15	日	
16	木	定期試験Ⅲ	16	日		16	火		16	金		16	月		16	月	
17	金	定期試験Ⅲ	17	月	生徒会選挙	17	水		17	土	PTA運営委員会、大学入学共通テスト	17	火		17	火	
18	土		18	火		18	木		18	日	大学入学共通テスト	18	水		18	水	
19	日		19	水		19	金		19	月		19	木		19	木	
20	月	PTA中間監査、講演会	20	木		20	土		20	火		20	金	定期試験Ⅴ	20	金	69日の日
21	火		21	金		21	日		21	水		21	土		21	土	
22	水		22	土		22	月		22	木		22	日		22	日	
23	木		23	日	勤労感謝の日	23	火		23	金		23	月	天竺誕生日	23	月	生徒集会
24	金		24	月	振替休日	24	水	大掃除、全校集会	24	土		24	火	定期試験Ⅴ	24	火	
25	土	学校説明会⑥	25	火		25	木	冬季休業開始	25	日		25	水	定期試験Ⅴ	25	水	終了式、離・退任式
26	日		26	水		26	金	開庁日	26	月		26	木	定期試験Ⅴ	26	木	来季休業開始
27	月	1年地域貢献デー	27	木		27	土		27	火		27	金	定期試験Ⅴ	27	金	
28	火	スポーツフェスティバル	28	金		28	日		28	水		28	土		28	土	
29	水		29	土		29	月		29	木		29	日		29	日	
30	木		30	日		30	火		30	金		30	月		30	月	
31	金		31	水		31	土		31	日		31	火		31	火	
第2回交通安全対策担当若者会議 学校衛生委員会			実力テスト 学校衛生委員会 平塚地区交通安全大会			第3回交通安全対策担当若者会議 学校衛生委員会			あいさつ運動 環境衛生検査、学校衛生委員会			学校衛生委員会			連絡講話 第2回高P連平塚桑野地区理事会 学校衛生委員会 学校運営協議会 スポーツ大会、DIG、教科書販売		

43

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月7日実施)	総合評価 (3月17日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4 地域等との協働	○「南が丘地区豊かな心を育む協議会」等との連携を通して幼稚園、小中学校・地域自治会等との相互交流をさらに充実する。 ○ボランティア活動のより一層の充実とボランティア精神の涵養を図る。	①地域の幼稚園・小・中学校や自治会と連携を深め、教育活動の充実を図る。 ②ボランティア活動、あいさつ運動を中心とした地域との連携を深め、生徒が積極的にボランティア活動に参加できるようにする。	①南が丘地区にある幼稚園・小・中学校との連携をさらに推進し、地域の自治会等との連携を深める。 ②積極的に参加するなどの、教育活動の充実に向けた連携を深める。 ③積極的にボランティア活動について情報発信を行い、生徒のボランティア活動への参加を促す。	①幼稚園・小・中学校などの連携や地域の行事などに参加することができたか。 ②ボランティア活動に参加した生徒が増加したか。	①地域ぐるみあいさつ運動や地域行事に積極的に参加するとともに、公開講座を実施した。小学校や近隣保育園の子どもたちとスワップ交流を実施した。 ②昨年度とほぼ同等のボランティア参加状況であった。	①引き続き地域連携を深めていくと同時に、積極的に広報し、積極的に交流していく。 ②情報発信を積極的に行い、新場のボランティア等も見つめている。	今年度は天候の関係で地域貢献活動は実施できなかつた。次年度の活動に期待したい。あいさつ運動は意義のある活動であるため引き続き実施して欲しい。昨年年度課題になっていた保育園、児童や部活動者等、授業や部活動において充実した交流ができたことは評価できる。	①地域のイベント、保育園、小中学生との交流など、地域交流活動が実施され学校活動と取組を浸透させていくために、地域回覧板への発信も行った。 ②ボランティア参加状況はほぼ同等であり、より一層の参加促進が求められている。	①地域との連携を充実させ地域の資源や教育力を活用した教育活動を展開する。また、学校ホームページや広報誌などを活用し、学校の活動や取り組みを積極的に地域へ発信する機会を増やす。 ②ボランティア部を中心に生徒への情報提供を充実させる。多くの生徒がボランティア活動に参加できるようにする。
			①学校生活が安心して快適に過ごせる環境をつくらんとともに、緻密な防災計画を図り、有事の際に迅速な行動ができるように備える。 ②お互いに挨拶や声かけをすることで注意喚起を行い事前の事故防止を図る。	①防災計画を図り、実行ができたか。 ②声かけや事前の注意喚起を行い不祥事防止に努め風通しの良い職場づくりを図ることができたか。	①地震を想定した防災訓練・シミュレーションを通して意識向上を図られた。防災訓練は雨天で体育館での実施となったが帰着地別集合など充実した内容であった。D I G研修においては暖食体験も実施した。 ②定例で行われる不祥事防止研修や講座を実施し、事故防止を図った。	①地震だけでなく、火事を想定していく必要がある。 ②職員同士の声かけや事前の注意喚起を行い、風通しの良い職場づくりをする。	生徒の安全安心に向け引き続き実践的な防災訓練をお願いしたい。不祥事防止に向けてよりよい職場環境に努めて欲しい。	①全生徒・職員が安心して安全に教育活動の課題に取り組めるよう、地震を想定した訓練などを実施できた。地震だけでなく、火事を想定した訓練も計画している必要がある。 ②不祥事防止研修や講座も定例で行われたものの、研修成果を生かすことができなかった。	①地震だけでなく、火災やその他の災害を想定した避難訓練や対応策の検討を行う。必要に応じて防災マニュアルの見直しを行い、生徒・教職員への防災意識の啓発活動を継続的に実施する。 ②風通しが良く働きやすい職場を目指し、職員同士の声かけや注意喚起を行う。
5 学校管理 学校運営	○様々な教育環境の変化に柔軟に対応し、積極的に課題に取り組める持続可能な組織づくりを行う。 ○全職員が不祥事防止に対する意識を高く持ち行動する。	①全生徒・職員が安心・安全に教育活動の課題に取り組める組織づくりを推進する。 ②全職員で不祥事防止に取り組む風通しの良い職場づくりに努める。	①学校生活が安心して快適に過ごせる環境をつくらんとともに、緻密な防災計画を図り、有事の際に迅速な行動ができるように備える。 ②お互いに挨拶や声かけをすることで注意喚起を行い事前の事故防止を図る。	①防災計画を図り、実行ができたか。 ②声かけや事前の注意喚起を行い不祥事防止に努め風通しの良い職場づくりを図ることができたか。	①地震を想定した防災訓練・シミュレーションを通して意識向上を図られた。防災訓練は雨天で体育館での実施となったが帰着地別集合など充実した内容であった。D I G研修においては暖食体験も実施した。 ②定例で行われる不祥事防止研修や講座を実施し、事故防止を図った。	①地震だけでなく、火事を想定していく必要がある。 ②職員同士の声かけや事前の注意喚起を行い、風通しの良い職場づくりをする。	生徒の安全安心に向け引き続き実践的な防災訓練をお願いしたい。不祥事防止に向けてよりよい職場環境に努めて欲しい。	①全生徒・職員が安心して安全に教育活動の課題に取り組めるよう、地震を想定した訓練などを実施できた。地震だけでなく、火事を想定した訓練も計画している必要がある。 ②不祥事防止研修や講座も定例で行われたものの、研修成果を生かすことができなかった。	①地震だけでなく、火災やその他の災害を想定した避難訓練や対応策の検討を行う。必要に応じて防災マニュアルの見直しを行い、生徒・教職員への防災意識の啓発活動を継続的に実施する。 ②風通しが良く働きやすい職場を目指し、職員同士の声かけや注意喚起を行う。

神奈川県教育委員会教育長 殿
県立秦野総合高等学校長 (全日制)

令和7年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1	教育課程・学習指導 ○単位制総合学科の利点を生かしたカリキュラム・マネジメントの推進に向けて学校全体で取り組む。 ○生徒の主体的な学習と確かな学力の定着に向けた、「系列」に応じた系統性のある学習の推進。	①新教育課程を実施するうえで生じる問題点を、継続的に把握し、適切に対処する。 ②新教育課程において、生徒が進路希望に応じて適切な科目選択をおこなうことで、主体的に学習に取り組むことを目指す。	①各年次、各教科との連携を密にし、問題点を早期に発見し適切に対処する。 ②履修ガイドブック、科目選択のガイダンス資料を適切に活用するとともに、キャリア支援グループと連携して、進路実現のための履修例や、3年間の科目選択、履修順序の例など更なる充実を目指す。	①各年次、各教科と連携を図り、問題点の発見、対処がおこなえたか。 ②履修ガイドブック、科目選択のガイダンス資料を適切に活用できたか。進路実現のための履修例や、3年間の科目選択、履修順序の例などを充実させたか。
2	生徒指導・支援 ○部活動のより一層の活性化を図り、魅力特色ある学校づくりを推進する。 ○SC、SSW、教育相談コーディネーター、外部機関との密接な連携を図り、支援を必要とする生徒一人ひとりへの支援体制の充実と強化を図る。	①部活動加入率60%を目標にして部活の活性化を図る。特に文化部の加入率向上に努める。 ②月に1回、定期的にコーディネーター会議を開き、戦略会議やケース会議を通して多様化する生徒一人ひとりのニーズに応えられるような合理的配慮を目指した支援をおこなう。	①部活動の活動紹介や大会日程、試合結果などの情報をSNSで積極的に公開して、生徒の関心を促し、入部率の向上を図る。 ②各年次の教育相談担当者が支援の必要な生徒情報を共有し、早期発見・早期対応に努める。また、教育相談について研修する場を設け、職員のスキルアップを図る。	①部活動加入率が60%以上になったか、文化部の入部率が特に伸びたか。 ②定期的にコーディネーター会議を開き、戦略会議やケース会議を通して課題のある生徒に支援ができたか。また、教育相談について研修会を開くことができたか。
3	進路指導・支援 ○多様な進路希望の実現に向け、進路希望分野別で継続的な支援を計画的に実施する。 ○外部機関と連携を行い、進路希望分野別のガイダンスや希望分野別の講習会を企画し、全ての生徒にとって適切な情報提供を実現する。	①全年次の学習計画に沿って、1年次の「産業社会と人間」2・3年次の「総合的な探究の時間」を個々の生徒の進路規模実現に資するよう効果的に行う。 ②進路別ガイダンス、進路別学習会を効果的に実施し、家庭に向けた情報提供を含めて適切でタイムリーな支援を行う。	①1年次は、自己理解と職業理解を計画的に支援。2年次は、進学・就職に向けた準備計画の確定と社会を取り巻く事象に対する探究学習を支援。3年次は進路希望実現に向けた取り組みを個別に支援する。必要があれば年間計画を適宜見直すなど柔軟に対応する。 ②ガイダンスや学習会で、クロームブック等を活用し効果的な情報提供と情報発信に積極的に取り組む。	①各取り組みでの振り返りシートを工夫し、生徒の記述が充実した内容になっているか。実施後のアンケート結果において理解が深まったと回答しているか。 ②生徒一人ひとりの活動が年次職員で共有できる資料提供ができたか。生徒一人ひとりの取組状況を保護者へ適切に情報提供できたか。

	視 点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	○「南が丘地区豊かな心を育む協議会」等との連携を通して幼稚園、小中学校・地域自治会等との相互交流をさらに充実する。 ○ボランティア活動のより一層の充実とボランティア精神の涵養を図る。	①地域の幼稚園・小・中学校や自治会と連携を深め、教育活動の充実を図る。 ②ボランティア活動、あいさつ運動を中心とした地域との連携を深め、生徒が積極的にボランティア活動に参加できるようにする。	①南が丘地区にある幼稚園・小・中学校との連携をさらに推進し、地域の自治会等の行事に積極的に参加するなど、教育活動の充実に向けた連携を深める ②積極的にボランティア活動について情報発信を行い、生徒のボランティア活動への参加を促す。	①幼稚園・小・中学校との連携や地域の行事などに参加することができたか。 ②ボランティア活動に参加した生徒が増加したか。
5	学校管理・学校運営	○様々な教育環境の変化に柔軟に対応し、積極的に課題に取り組める持続可能な組織づくりを行う。 ○全職員が不祥事防止に対する意識を高く持ち行動する。	①地域の中学生・保護者に向けて、本校の魅力を十分に伝えるための発信を積極的に行う。 ②全生徒・職員が安心・安全に教育活動の課題に取り組める組織づくりを推進する。	①秦野総合高校の魅力を伝えるため HP の更新や秦野・伊勢原地区の中学校を中心に積極的に学校訪問等を行う。 ②生徒が安心して快適に過ごせる環境をつくるとともに、有事の際に迅速な行動ができるように備える。 ③不祥事ゼロを目指し働きやすい職場環境をつくる。	①定期的に学校の HP を更新できたか。また、秦野・伊勢原地区の中学校に十分に学校案内をすることができたか。 ②防災計画を図り、実行ができたか。 ③オフィス改善に向けて計画を立てるとともに、定期的な不祥事防止研修会を実施することができたか。